

無法な戦争の仕掛け人・トランプ大統領に追随する高市首相に抗議する(談話)

2026年3月21日
安保破棄中央実行委員会
事務局長 東森英男

19日にワシントンで行なわれた日米首脳会談で高市首相が、年初のベネズエラへの侵攻に続きイランに対して先制攻撃を行い、世界を混乱に陥れている米国のトランプ大統領を称賛し、追随しました。

「法の支配」を否定し、「力による支配」を容認する危険で恥ずべき高市首相の言動に強く抗議します。

首脳会談で高市首相は、「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけだと思う。私は諸外国に働きかけてしっかりと応援したい」と述べました。そして、イランの核開発や、イランによる湾岸諸国への攻撃などについて批判していると述べる一方で、アメリカのイランへの先制攻撃についての批判は一切行いませんでした。

これは、トランプ政権がイスラエルとともに、国連憲章と国際法を無視してイランに対する先制攻撃を行った行為を追認するものであり、断じて認められません。

この高市政権の立場は、ドイツ、フランス、イタリア、スペインなど NATO 加盟国が国際法違反などと批判をしているのと比べても異常なものです。また、日本国内でも8割がイラン攻撃を「支持しない」と答える中で、国民世論に背を向けるものです。

すでに横須賀などの在日米軍基地から米軍がイラン攻撃に出撃していることも重大です。まして、憲法に違反する日本の戦争参加は絶対に許されません。

私たちは、アメリカとイスラエルが直ちにイランへの攻撃をやめるよう求めるとともに、高市政権がトランプ政権の違法な戦争に加担せず、日本国憲法の立場に立って世界の平和実現に努力するよう要求します。

以上